

サポーターのことは

ベーカー&マッケンジー法律事務所 弁護士
江口 直明



はじめまして！CNCP のサポーターの弁護士の江口直明です。ベーカー&マッケンジー法律事務所で PFI/PPP のインフラ案件や再生可能エネルギーのプロジェクトファイナンスの契約書作成を専門としています。

PFI 法が 1999 年に成立してから早 18 年、これまで色々な種類の PFI のお手伝いをしてきました。仙台空港、関西空港（入札支援）、福岡空港コンセッション、羽田空港エプロン、貨物ターミナル、那覇空港管制塔、航空保安大学校、愛知道路コンセッション、衆参議員会館、福岡クリーンエナジー、駒込、松沢、愛媛病院、筑波大学病院、美祢刑務所、エジプト大使館、知多浄水場、横浜市消化ガス発電等横浜市北部下水処理場、大阪ユニバーサルスタジオ向けプロジェクトファイナンス及び買収ファイナンス、矢巾駅前地区整備事業、カナダ大使館、フランス大使館（入札支援）等の民間収益事業等々とても全部は名前をあげられません。

インフラ案件や再生可能エネルギー案件をお手伝いしていて楽しいのは、自分がお手伝いした案件が形のあるものとして出来上がり、皆さんのお役に立っているのではないかという充実感（自己満足？）があることです。また、自分がまったく素人の分野の技術の専門家の方に最新技術についてご教示をいただけることです。内容を全て理解できるものではないですが、一時期数が減ってきてしまった PFI ですが、空港コンセッションが始まりまた、盛り返してきました。

また、PFI 推進委員会でもアクションプランを改訂して、20 万人以上の地方自治体に PFI の優先検討をお願いしています。私も計画部会の専門委員として、アクションプランの改訂に関与しました。これから上下水道、道路、国際展示場、都市公園などに広がっていく機運が出てきました。さらに海外に目を転じると、アジアの成長に従って海外のインフラ案件もどんどん増えていくと思います。また、トランプ政権の 1 兆ドルインフラ計画からも目がはなせません。米国の PFI の歴史は比較的新しいので、インフラ更新投資に火がつけばかなりの量の案件がこれから出てくるでしょう。

このようなときにまず心配になるのが、「ところでこのような大量の案件を担当する専門家の人員は大丈夫だったっけ」ということです。日本の企業は一時海外インフラ案件から手を引いていたこともあり、海外のインフラ案件を手掛ける、中間層が手薄いという弱点があります。そこで CNCP サポーターの皆さんの力が必要になるのだと思います。

もちろん 20 代や 30 代の若者のように馬車馬のように働きませんが、昔取った杵柄で、ツボを押さえて要領よく働くことはできます。週に 3 日で OK です。人間到處有青山 人間到處
処 青山有り